皇太子殿下には日曜日の海用即から還啓還にされ

大與にて「天皇、泉后

・博文谷方面を乕爆

原常品を流載した数子抜しタインの確成した(1)西際距离言葉茨県西方士キョの今衆、伊郷(高地にあり、蘇紫銀高版を消費方面に多大の成果を削すたり、その主要だともの左の如し、(1)秋山、田中真直域は平海丁戸過ぎ光州上空に飛っ使河の倚栗(南京) 日回盟)中文東京資主時過表――昨十日一覧に設たき中文に光華に東外は近郷を派遣に飛機を逃れて維護無違に流戦

が荒陰

呼應

鮮獨自の計畫 た

荒井。お乳 電話罷山七三一

## 獨攻 付 に 通 達 か

二一四二八番 韓四ヶ原刊行合稿||出版圖書目録||

統には外交圏との保証的調見の表達と容見したが、ヒトラー製 **老達と育見したが、ヒトラー總ベルグでドイツの主だつた首勝** ヘンダーソン大使はニユールン

交渉を再開

【プラヘ十日同盟】 ズデーテ

乳製品。細菌學

**齊**廢道雄先生著

■・乳と乳製品の化學(近刊) 「所述者・乳乳製品の物理學類™、川 「所護者・乳乳製品の物理學類™、川

・續餘農 産製造學(近刊)

定仮四圓八十銭・8科スナニ員同

## 官憲との衝突頻り

林學原論

-村賢太郎先生著(改訂版)

定價六圓八十錢。歸天十三頭

Ħ

・ハムメベーコン間後に話

・ソーセージ輪優! ・乳と乳製品の化學 (近刊)

不滅を强調

堰堤

田 保先生著 四•鈴梨犬士三段

即數等•林樂簿記及較益論 图言語 投贈本木材の乾燥過三六 東流等・林葉實館と實習 とこれ 阿斯兰斯·原林區構養(全三冊) 超水·00

按照所 農業土木學通論 201-01

戦党者・農業士 木 學館ご○○

時報·農業用揚水機蹈: 100

野三輪男四郎野著日本甲蟲分類學定位三回彩+BB

古先生著 日本產一華類總記 正顾院五四九十錢 松二三先生者 實用 植物 學 定 價 三 四 燧+1

欧病害蟲の薬剤驅除院四回五十銭炭上頭農業昆蟲の薬剤驅除院四回五十銭炭上頭

(**桑賴威) 定價十五回 | 会** 

ヒ總統と會見か

全南視察

大新八三、110、東新1四八、 110、蘇紡[[m]11、110、海州

本の甲蟲

(数) 定價十四回 54 (数) 定價十四回 54

定價十四回 岩山縣

齊に總攻撃開始

**個聲殷々大別山麓を搖かす** 

2000年で十一日年後一時史。門を開きに終れたる副観を開始し、100年で十一日刑規特派員後1 | 個名剛地は午後一時より一番に個

定價五圓五十錢

原报8· 溝 洲 農 紫 讀 本 湖 · [1] 於機事・農家經濟簿記要說頭・九年 於照·農業經營經濟學 15.50

橋本傳左衞門縣監

△1年前金五四十十歳▼

横してある。合用では既に版々 同を伝説でしたとに本文 記載が耳に入して

光州陷落迫る(紫癜)

別山飛風北部二帯の天地で描かせ

近岸弘を失ひ黄河の北岸に戸迷ひ,「后常北十一日同盟」 我が進撃に 瓦斯彈を放つ

我が遊攻に飼し西弧航江上より

























































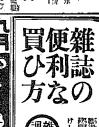






短期與行

早朝初月開資時間遊









世界發聲ニユース

映畵月報—短篇映畵集

オリザニンは品質純良、效果的確にして趣界 に於けるピタミンB剛の標準品と認められて

脚氣の環防と治療、幼兒の成長促進 疲勞の豫防と恢復、熱性疾患時等々

ピタミン Bの缺乏に際しその補給源と して最適、體力の維持増進に重要なる **菜養素として推奨されて居ます** 

東京·室町 三共株式會社

系, 说, 表, 工车头, 证明点是图为力

突蛇化し疑心脱鬼に関られコレラ緊ਆが窓所に起ってゐる…… 【平墳】コレラ役入の赤信線に二十二萬府民の神経はいやが上にも

後田建所)【中】海州市場の消毒【下】海州駅の防疫、東電道院観明 【上】通行自動車・2一寸待テー(西門防

海州は宛ら要塞(コレラ防疫陣)

【新設州】故証、平宮開道に役入

▲崎山信氏(大邱郵便局長)十三 新選州へ

日午後六時四六分許列印で帝任

▲雅田信吾氏 (統統形長) 十三日

人の動き

魚介の移入禁止

コレラも、平北では早くから

**阿里派田市同▲同等現里派田府** 平北の防疫陣

疑心暗鬼とか

【大邱】九日夜新夏行節一列車內

移動班に捕る怪しい男女

一日間も生きてゐた愛見に

餘り小さ過ぎる 多獅島築港計畫を視察して

日職安したが、同技師は次のや

【城南川】城南川州管内にまたも また眞性一名 鎖南浦に發生

「ボ州」十日の古蹟堂職日に邑で 海州でも跡演會 に呼吸器で消化器から使入する 豫防や治療の簡單

事と贈事

部長、公置、被御氏が現地に急行

の「古蹟愛護に就て」 云ふのではなく、その機様は真 だそれでよいのであり、鍵つて砂

患者自身が病氣を

血気にまかせ、全然治療を怠る か、中絶するとか、然らした意 過し、中がて中華以上の鑑さ盛り 勿論斯らした人は、五平十年 問題し、特に注意期の人など

内粉部長) 十

便秘と皮膚病に

有含ンモルホ度強・許特賣專

第に引動取調べると、右密整は一たが八月以降の様水がはこの分布

日本の海ご空ごを擔ふ兩珍客

**兀山で語る北鮮観** 

、 はあ違い新一四十四分元山弧湖北行した。 まあ違い新一四十四分元山弧湖北行した

は流行語

るもの三百二十三町五反六畝歩。一ころ、犯人は八日自動車便で周城

九反ル、枯死に蹴せ一届田により続なよる卓袱面積は枯死一現金二百八四の

分階列車で來元、杉野元山南

【釜山】十日朝釜山入港の鵬釜運

興安丸から投身

倉田企劃院技師談

遊に入り、抜お、吹川村・職物、脱 全身に随り、更に淋巴液で容配

初期の治療には勿論、二州、

るもので、之れが昂じると、

内服薬ベルツ丸は

**慢毒の治療に力强** 内服薬の排毒作用 病氣の悪化しない内に手當が肝要

**地ない。手告を施士の限りは順序 | 匿りが内臓や助予組織の中に出來 | 闘子がよくなり、自然競攝** 梅港は世にも思うしい病には祖 | ▲陸雅とも云ひ、ゴムの様な硬い | ヘ原特よい便通と共に、全身的 水年惱む二期三期の梅毒にも最適



まらんとする単調不報に必要を折 山町盛北教派登画に歴史を楽で立 山町盛北教派登画に歴史を楽で立

付期に於けて降水量は利益多かで

一様王なく基天が持續して用水の

た進も相似にあり、八月廿

哀れな老婆

が既を抱いて菓子に來印したものあると聞いて十日わざく右老婆

一変調が一手五百八十町六反歩、計

轢かれて惨死

が各郷では永同郷の九百五町二反

忠北の稻役害

お客を装つて

入金塔。排ひ

十七少年、大膽な犯

に道院、自鳴車の客席の下に隠縁都住和事はこれも自動車で直

一方面に速走した事質を確めた同

二干餘町步

孫を抱いて 楽一の旅、

人を喰る黴菌の話

